

# たかおか

# 市議会 だより

No.36 9月定例会号  
平成26年(2014年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
代表質問	5P
個別質問	6P
委員会の動き	10P



さあ、2015.3.14 北陸新幹線開業  
新高岡駅から。



万葉に思いをはせて 万葉集全20巻朗唱の会

写真提供：伏木写友会

編集■広報広聴委員会  
発行■富山県高岡市議会  
〒933-8601 高岡市広小路7-50  
TEL 0766-20-1531  
FAX 0766-20-1534  
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



# 補正予算・条例・決議など

## 31議案を可決・同意 代表・個別質問に15人が登壇

9月定例会は10日に開会し、25日に閉会しました。  
市長から平成26年度一般会計補正予算をはじめ33議案が、議員から新高岡駅への「かがやき」（速達タイプ）の停車に関する決議など2議案が提出され、うち31議案を可決・同意し、また、平成25年度決算の認定をはじめ3議案を継続審査としました。  
今定例会では、代表・個別質問に15人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

### 可決・同意した主な議案

#### 条例

- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例  
子ども・子育て支援法の制定に伴い、教育・保育施設及び地域型保育事業が、国から給付を受けるために必要な運営に関する基準を定めるもの。
- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例  
児童福祉法の改正に伴い、家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育及び事業所内保育事業の認可基準を定めるもの。

- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例  
児童福祉法の改正に伴い、放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準を定めるもの。

- 高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正  
診療報酬の改定に伴い、病理診断管理加算の基準が変更されたことから、診療科に病理診断科を加えるもの。

- 集会所条例の一部改正  
淵ヶ谷センターを五位集会所とするもの。
- コミュニティセンター条例の一部改正  
戸出コミュニティセンターに指定管理者制度を導入することに伴い、必要な事項を定めるもの。

- 高岡御車山会館新築工事  
（変更前）13億5135万円  
（変更後）13億6939万円
- 伏木地区コミュニティ施設（仮称）新築工事  
（変更前）8億1900万円  
（変更後）8億2284万円
- 戸出西部市営住宅建替工事（A棟）  
（変更前）5億9850万円  
（変更後）6億1404万円

#### その他

- 工事請負契約の締結  
市営福岡グラウンド改修工事老朽化した福岡グラウンドを改修するもの。
- 工事請負契約の変更  
① 高岡御車山会館新築工事  
（変更前）13億5135万円  
（変更後）13億6939万円
- ② 伏木地区コミュニティ施設（仮称）新築工事  
（変更前）8億1900万円  
（変更後）8億2284万円
- ③ 戸出西部市営住宅建替工事（A棟）  
（変更前）5億9850万円  
（変更後）6億1404万円



環境保全の拠点として 高岡広域エコ・クリーンセンター

## 議決結果一覧

### 初日提出議案

#### 平成26年度 補正予算

- ◇ 一般会計……………賛成多数で可決
- ◇ 国民健康保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇ 介護保険事業会計……………賛成多数で可決
- ◇ 後期高齢者医療事業会計……………賛成多数で可決

#### 条例

- ◇ 社会福祉事務所設置条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例……………賛成多数で可決
- ◇ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例……………賛成多数で可決
- ◇ 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例……………全会一致で可決
- ◇ 高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ 集会所条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ コミュニティセンター条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ 市営住宅条例の一部改正……………全会一致で可決

#### その他

- ◇ 工事請負契約の締結（市営福岡グラウンド改修工事）……………全会一致で可決
- ◇ 工事請負契約の変更（高岡御車山会館新築工事）……………全会一致で可決
- ◇ 工事請負契約の変更（伏木地区コミュニティ施設（仮称）新築工事）……………全会一致で可決

\*インフレスライド条項：特別の事情により工期内に日本国内において急激なインフレーションを生じ、請負代金額が著しく不適当となったとき、発注者及び受注者は、請負代金額の変更を請求することができる。

- ④成美小学校校舎耐震補強及び給食室改修工事  
(変更前) 6億1938万円  
(変更後) 6億3707万円
  - ⑤博労小学校校舎耐震補強及び給食室改修工事  
(変更前) 5億3892万円  
(変更後) 5億4539万円
  - ⑥二塚小学校校舎耐震補強工事  
(変更前) 2億1524万円  
(変更後) 2億2116万円
  - ⑦五位中学校体育館及び武道場耐震補強工事  
(変更前) 1億9386万円  
(変更後) 1億9612万円
  - ⑧戸出中学校校舎耐震補強工事  
(変更前) 4億2876万円  
(変更後) 4億4846万円
- いずれも新労働単価に基づく契約金額に変更するもの。



北陸新幹線かがやきの新高岡駅への停車に向け期成同盟会設立

### 財産の取得

全蓋型アーケード  
中心市街地のさらなる活性化に向け、御旅屋通りの魅力向上を図るため、全蓋型アーケードを購入するもの。  
取得価格 4000万円

### 人事

教育委員会委員  
河田 悦子氏 (再任)

固定資産評価審査委員会委員  
蟹瀬 美和子氏 (新任)

作井 康人氏 (再任)

参納 武氏 (新任)

新納 耕一氏 (新任)

田子 健一氏 (再任)

能澤 洋子氏 (再任)

人権擁護委員  
小山 春木氏 (再任)

福岡町土屋

### 決議 (要旨)

新高岡駅への「かがやき」(速達タイプ)の停車に関する決議

北陸新幹線長野・金沢間開業に伴う運行計画の概要が発表され、平成27年3月14日の

開業日と列車の運転本数及び停車駅が示された。

運行計画では、速達タイプのががやきは、1本も新高岡駅に停車せず、高岡市民のみならず県西部6市、飛騨・能登地域の住民にとっては受け入れがたい内容となっている。

現高岡駅には、全ての速達列車が停車しており、県西部の経済等の振興に多大な貢献をもたらしている。新高岡駅も、現高岡駅と同様に県西部地域のみならず飛騨・能登地域の産業振興や観光交流の拡大・各種ビジネスの発展の玄関口として、大きな役割を果たすことが期待されている。

このような状況に鑑み、新高岡駅にかがやきが停車することは、飛越能地域全体のさらなる発展に大きく寄与するものであると確信している。

よって、新高岡駅の拠点性を損なわずに、開業への取り組みの効果を最大限に高めるためにも、関係自治体と経済界が一体となって、JRに対し、安全で安心、利便性の高い公共交通に対する社会的責任を訴え、かがやきの相当数の新高岡駅への停車を要望する。また、国会及び政府に対しては、その支援を強く求め、その取り組みに全力を尽くすことを決意するものである。

◇工事請負契約の変更(戸出西部市営住宅建替工事(A棟))  
全会一致で可決

◇工事請負契約の変更(成美小学校校舎耐震補強及び給食室改修工事)  
全会一致で可決

◇工事請負契約の変更(博労小学校校舎耐震補強及び給食室改修工事)  
全会一致で可決

◇工事請負契約の変更(二塚小学校校舎耐震補強工事)  
全会一致で可決

◇工事請負契約の変更(五位中学校体育館及び武道場耐震補強工事)  
全会一致で可決

◇工事請負契約の変更(戸出中学校校舎耐震補強工事)  
全会一致で可決

◇財産の取得(全蓋型アーケード)  
賛成多数で可決

◇平成25年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分  
全会一致で継続審査

◇平成25年度市民病院事業会計ほか3企業会計決算  
全会一致で継続審査

◇平成25年度一般会計・国民健康保険事業会計ほか7特別会計決算  
全会一致で継続審査

### 最終日追加提出議案

#### 人事

◇教育委員会の委員の任命  
全会一致で同意

◇固定資産評価審査委員会の委員の選任(6件)  
全会一致で同意

◇人権擁護委員の推薦  
全会一致で同意

# 会派構成変更のお知らせ

新会派の結成等により、会派構成が次のとおりとなりました。(平成26年9月26日現在)

※議席順

## ■自民同志会 (20人)

横田 誠二  
 藪中 一夫  
 中川加津代  
 坂林 永喜  
 本田 利麻  
 福井 直樹  
 永森 茂  
 金森 一郎  
 曾田 康司  
 酒井 立志

狩野 安郎  
 川島 国  
 水口 清志  
 高島 義一  
 青木 紘  
 大井 正樹  
 荒木 泰行  
 館 勇将  
 島 起也  
 山沼 茂敏

## ■社民党議員団 (3人)

石須 大雄  
 野上 達夫  
 上田 武

## ■公明党 (2人)

吉田健太郎  
 樋詰 和子

## ■市政高岡 (2人)

中山 欣一  
 四十九清治

## ■日本共産党 (1人)

金平 直巳

## ■友進会 (1人)

盤若 進二

## 議員提出議案

◇消費税の税率引き上げ決定に反対する意見書

.....賛成少数で否決

◇新高岡駅への「かがやき」(速達タイプ)の停車に関する決議

.....全会一致で可決

## 請願

◇年金・高齢期のくらしと地域経済を守る意見書提出を求める請願(全日本年金者組合富山県本部 執行委員長 米谷寛治ほか1名).....賛成少数で不採択



家持くん 利長くん

# 変更のあった委員会

## 議会運営委員会

### ◆委員会の構成

委員長 酒井 立志  
 副委員長 川島 国

石須 大雄  
 福井 直樹  
 金森 一郎  
 四十九清治  
 高島 義一  
 樋詰 和子  
 山沼 茂敏

(平成26年9月26日現在)

※委員長・副委員長以外は議席順

# 議会日誌

## 6月定例会後～9月定例会前

- 6月26日 広報広聴委員会
- 7月 7日 広報広聴委員会
- 8日 民生病院常任委員会
- 11日 建設水道常任委員会
- 18日 経済消防常任委員会  
総務文教常任委員会
- 22日～24日  
経済消防常任委員会行政視察  
総務文教常任委員会行政視察
- 31日 新幹線・公共交通対策特別委員会
- 8月18日～19日  
港湾対策特別委員会行政視察  
新幹線・公共交通対策特別委員会行政視察
- 25日～27日  
建設水道常任委員会行政視察
- 26日～28日  
民生病院常任委員会行政視察
- 9月 3日 議会運営委員会  
代表者会議
- 4日 正副常任委員長会議
- 8日 新幹線・公共交通対策特別委員会

## 9月定例会

- 9月10日 議員協議会  
本会議(提案理由説明)  
議案説明会
- 12日 本会議(代表質問)
- 17日 議会運営委員会  
本会議(個別質問)
- 18日 本会議(個別質問)  
水道病院決算特別委員会  
決算特別委員会  
議会運営委員会
- 19日 代表者会議  
民生病院常任委員会  
経済消防常任委員会
- 22日 議会運営委員会  
建設水道常任委員会  
総務文教常任委員会
- 25日 委員長会議  
議会運営委員会  
議員協議会  
本会議(議案・決議など議決)

# 代表質問

今定例会では、自民同志会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民同志会  
川島 国

## 新幹線かがやきの停車を

**問** 新高岡駅に新幹線の全列車停車をJRに要望してきたが、速達タイプかがやきが1本も停車しないという発表があった。県西部地域や飛越能地域全体の発展のため、かがやきの停車は必須と考えるが、開業当初からの新高岡駅停車に向けての決意は。

**市長** 市民や周辺地域の住民をはじめ、首都圏から飛越能地域へ向かう人々にとっても、新高岡駅が利用しやすく拠点性の高い駅となるよう各般の施策を講じてきた。新高岡駅の魅力を適正に評価してもらい、かがやきの停車、運行本数の増加を図ることは必須なことと認識している。運行ダイヤの発表まで残された期間には限られるが、かがやき停車に向けて、各方面に要請することはもとより、県西部地域

の官民が連携し、期待される新高岡駅の利便性の実現に全力を尽くしたい。

## 開業後の土地利用は

**問** 新幹線開業後の土地利用について問う。

(1)富山高岡広域都市計画区域マスタープランが決定されたことにより、市街化区域編入に関する基本方針に基づく本市の事業が遅滞なく進められると考える。この基本方針に基づく線引き見直しの方向性、取り組み状況と今後の予定は。(2)ポスト新幹線のまちづくりでは、人口減少社会を前提としたまちづくりの視点から、都心エリアと市内各地域の核となる市街地と連携し、将来的にもバランスのとれたコンパクトなまちづくりを行うべきと考えるが、見解は。

**都市整備部長** (1)線引きの見直しについては、関係機関との協議等を経て、平成28年夏を目途に手続きが完了する予定である。本市では、市街化区域編入に関する基本方針を編入要望提出者へヒアリング



様々なイベントでにぎわいを創出

等を行ったうえで、県へ提出したところである。今後、県と市のまちづくりとの整合に加え、農林漁業との健全な調和を図る観点から、国等の関係機関との調整が進められると聞いている。現在、本市では、市街化区域編入の準備作業を進めているところである。

**市長** (2)本市では、総合計画第2次基本計画において、市内各地域の核を交通の軸で統合し、持続可能な多極ネットワーク型の都市を目指しており、現高岡駅や新高岡駅周辺の都心エリアへの機能集約と

周辺市街地の日常生活を支えるコミュニティ施設など機能の充実を進めてきた。都心エリア及び周辺市街地に求められる都市機能の充実とこれら連携強化を促進する交通ネットワークの充実により、コンパクトなまちづくりに努めていきたい。

## 今後の人口減少対策は

**問** 国では、元気で豊かな地方の創生を最大課題として人口減少対策に向けて動き始めた。従来より本市では、都市の総合力を高めるため、住まいや働く場の確保、子育て環境の充実等を中心に各種施策を推進してきたが、国の動きを踏まえ、平成26年8月に設置された人口減少対策本部の内容と方向性や今後の展望は。

**市長** 人口減少対策本部は、定住対策の検証と見直しを進め、本市の強みを活かした総合的な人口減少対策の再構築に向け設置した。対策本部では、年齢別の人口推移などを分析した結果、若者や女性の人口減少が顕著であることから、その要因が大学等への進学時やその後の就職時、女性の就職・婚姻時によるものと推測し、現在、対応策を検討

している。本市としては、住まい、働く場、子育てをテーマとする定住対策に加え、新たに若者や女性の視点を取り込むことで、さらに実効性のある施策の検討を進めたいと考えている。

## 文化創造都市実現に向けて

**問** 新幹線開業に伴う都市間競争に打ち勝つためには、高岡の誇るべき文化の全国的な認知度の向上と高岡ブランドの形成が必要であると考えられる。これらのためには、文化創造都市高岡の実現が重要であるが、その方針は。

**市長** 文化創造都市の実現のため、市民が高岡の文化を知り親しむ機会の拡大、分野を超えた交流の創出とそのため創造の場の形成が重要である。また、文化創造都市の取り組みについては、積極的な発信を行う等のメディア戦略を通して高岡の認知度向上を図り、市民の地域文化に対する誇りを高める取り組みが求められる。今後、具体的な推進施策等について検討を加え、平成26年度内にビジョンを策定することとしており、その中で、本市が目指す文化創造都市高岡の都市像と具現化の方策について示したい。

# 個別質問

今定例会では、14人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



本田 利麻  
自民同志会

## バス運行の差別化を

**問** 高岡から能登方面への高速バス運行の実証実験は、西日本JRバスが平成26年10月から行う富山駅からのバス運行と、どのように差別化を図るのか。

**市長** 本市が取り組むバス運行は、高速バス方式である。經由地では滞在時間を設けず、スムーズに利用者を目的地に運ぶためのものであり、新高岡駅の交通拠点性や本市の中心性を高めるための二次交通としての役割を想定している。

## 早急な災害対策を

**問** 本市の災害対策について問う。

(1)平成26年7月の豪雨で発生した土砂崩れ等の災害復旧のスケジュールは。  
(2)金屋町の火災を受け、木造住宅密集地における今後の消防体制の考え方は。



豪雨災害への万全の体制を（平成26年7月20日 浸水被害の状況）

## 産業振興部長

(1)市道や農業用施設で緊急性の高い箇所はすでに復旧を終えている。被害の大きい被災箇所では、国の補助事業による復旧工事の採択に向けて現在、査定を受けている。残りの被災箇所は、地元と協議を進めながら復旧に努めたい。

**消防長** (2)今回の火災を踏まえ、平成26年10月から二次出動体制の強化のため、図上訓練を含む指揮隊運用訓練等を実施し、木造住宅密集地の消防体制の強化を図りたい。



福井 直樹  
自民同志会

## かがやき停車への署名活動

**問** 新高岡駅にかがやきの停車を求める署名活動のスケジュールと展開方法は。また、署名活動は飛越能地域全体を対象とすべきでは。

**都市整備部長** 早い時期に県西部地域を中心とした活動団体の設置を考えており、参加団体の意見も聞きながら展開方法を検討したい。また、飛越能地域への展開は、今後の検討過程を踏まえ対応したい。

## 美しい河川環境の保全を

**問** 本市の準用河川における不法投棄対策の現状と評価は。また、今後の対策は。

**建設部長** 河川パトロールに努めているが、不法投棄は減らない状況である。一方、近隣住民の清掃活動等を心強く感じており、本市でも、不法投棄防止の看板設置等を通じ、河川環境の保全に努めたい。

## 独自の人口減少対策を

**問** 全庁横断で設置された人口減少対策本部では、独自にスピード感を持って具体的な対策を実施していくべきでは。

**市長** 人口減少の要因には、進学時やその後の就職時、女性の就職や婚姻時の流出超過等があると考えている。定住施策の検証等を行う中で、必要な事業を平成27年度予算に盛り込むとともに、子ども・子育て支援事業計画や新たな総合計画に反映させたい。



中山 欣一  
市政高岡

## 今後の財政見通しは

**問** 将来の人口減少や高齢化社会に対応した財政見通しを市民に示すことが重要と考えるが、見解は。

**市長** 財政状況が硬直化しつつある状況を踏まえ、平成26年2月に財政健全化方針を策定した。市民にも財政状況を示し、持続可能な財政構造の構築のため、理解を得ながら、健全化方針を実行したい。

## 緊急時の迅速な情報伝達を

**問** 防災行政無線システムの

運用状況は。また、自治会防災訓練等での有効活用が大切と考えるが、見解は。

**総務部長** クマの目撃情報や土砂災害警戒情報発令等の注意喚起が、平成25年度は21回、26年度は13回放送された。自治会防災訓練では、十分活用されていないことから、積極的な活用の周知に努めたい。

## 合併の検証作業は

**問** 合併10周年に向け、現在の検証作業の状況は。また、検証結果の市民への公表についての考え方は。

**総務部長** 平成17年から26年度までの事業の進捗状況を整理し、合併の成果と課題として示したい。また、26年度中に市民の意識調査を実施する。検証結果については、広く市民に提示し、意見をもらいながら、今後の施策・事業などに反映したい。



数中 一夫  
自民同志会

## 障害者へのスポーツ支援を

**問** 本格的なスポーツ活動を望む障害者へ積極的に支援を行うべきと考えるが、見解は。

**福祉保健部長** 本市では、全



白熱した試合を繰り広げる車椅子ツインバスケットボール

いるが、募集年齢の引き上げ等により必要な人材の確保に努めたい。

### 出初式の見学者への配慮を

**副市長** 平成27年の出初式は、特別演技等と一斉放水の場所が離れており、見学者の移動に課題があると考えますが、どう配慮するのか。

**消防長** 特別演技会場から一斉放水会場への移動には誘導員を配置し、一斉放水の開始時間は、見学者の移動時間を考慮し、見学者がスムーズに移動できるように配慮したい。



金平 直巳  
日本共産党

### 集中豪雨に万全の備えを

**副市長** 水害対策について問う。  
(1)緊急浸水対策行動計画に基づいた平成26年度から27年度までの事業の実施予定は。

(2)集中豪雨により、甚大な被害を受けた中田地区の水害対策の早急な具体化を。

**副市長** (1)県は、地久子川や谷内川の整備を予定しており、本市では、守山川や内古川の整備に取り組んでいる。また、27年度には、四屋川の河川改修の基本設計の策定や住吉ボ

**副市長** 職員採用試験について、応募者全員と面接を行い、年齢制限の撤廃を検討しては。  
**総務部長** 応募者全員との面接は、要する時間等の課題があるものの、工夫を重ねていきたい。また、一定の年齢制限は安定的な行政運営のためには、やむを得ないと考えて

ンプ場等の整備を進めたい。排水路整備については、引き続き、側溝の改修に努めたい。

### 産業振興部長

(2)丘陵部や上流地域に降った雨が用水に集中したことが被害の要因と考えている。高岡市・小矢部市・砺波市及び用水を管理する土地改良区と今後の対策を協議し、水門管理の徹底を確認しながら、用水のかさ上げ等の整備を進める予定である。

### 住宅密集地での延焼対策

**副市長** 住宅密集地での消防力強化のためにも、消防体制や防火体制の強化を。

**消防長** 平成26年10月から図上訓練を含む指揮隊運用訓練等を実施し、住宅密集地の消防体制の強化を図っていく。また、毎年、市内に防火・防災マイタウン地区を指定し、防火講習等を実施しており、今後は、地域の意見等を聞き、防火体制の強化を図りたい。



上田 武  
社民党議員団

### 人口減少社会に向けて

**副市長** 本市において人口減少対策本部の設置に至った背景と、今後の取り組みは。

**市長** 2040年には全国の約半数の市町村で、20歳から39歳の女性の人口が半減し、消滅の恐れがあるとの試算結果を受け、人口減少対策の再構築を図るべく対策本部を設置した。対策本部の分析結果を踏まえ、新たな視点で実効的施策を検討し、平成27年度予算や関連計画に反映したい。

### 消費税増税の影響は

**副市長** 消費税率が10%に引き上げられれば、買い控えによる消費の停滞が地域経済に大きな影響を与えるのでは。

**産業振興部長** 消費税率の改定に当たっては、国等において所要の措置が講じられるものと認識しており、本市としても動向を注視したい。

### 原子力災害への迅速な対応

**副市長** 水見市の放射線量測定結果を受け避難者の受け入れ体制をとるのではなく、本市にも放射性物質が飛散している想定で体制をとるべきでは。

**総務部長** 県が示したシミュレーション結果では、本市でも屋内退避が必要となる場合も想定されている。本市に防護対策が必要となる場合には、地域防災計画に基づき水見市からの受け入れよりも、本市自身の対応を優先したい。



吉田 健太郎  
公明党

### 安全な道路環境の維持管理

**副市長** 発生の予測が難しい道路陥没や橋梁床版の劣化に伴う抜け落ちの発生状況と、今後の取り組みについての見解は。

**建設部長** 道路陥没は年間10件程度発生し、橋梁床版の抜け落ちは発生していない。今後は、道路パトロール回数を増やし、専門業者による調査を行うことで、路面異常等の早期発見や防止に努めたい。

### 新しい分別方法の周知を

**副市長** 新しいごみ分別方法について、住民説明会の中で出された主な意見とその対応は。

**生活環境部長** 主な意見は、ネット袋等の新たに配布した回収容器の取扱いとその数量、ごみ集積場のスペースの確保、収集時間や異物混入時の収集の対応であった。これら意見には、個別に対応しており、今後も、相談には、丁寧かつ適切に対応したい。

### 実情に応じた子育て支援を

**副市長** 子ども・子育て支援新制度の実施主体として、本市の

決意は。

**市長** 新制度に向け、子どものライフステージを通じて、一貫して切れ目のない子育て環境を整える総合的なシステムを構築したい。本市では、子育て支援センターを拠点とした保育園のサテライト化など高岡ならではの子育て支援システムの構築を考えている。



坂林 永喜  
自民同志会

### 地域で暮らし続けるために

**副市長** 高岡あつまり福祉ネットワーク推進事業の先行実施地区の実績と助成金の有無は。また、モデル地区拡大への展望は。

**福祉保健部長** 実施地区からは、地域全体で事業に取り組み意識が高まった等の報告があり、1地区当たり30万円、3年目以降は15万円を助成している。今後は、地域包括支援センターと連携強化を図り、平成28年度までに市内全27地区に拡大していく予定である。

### 子育て環境の整備を

**副市長** 安心な子育て・教育環境の充実について問う。

(1)児童数の多い大規模校と少ない小規模校では、備品・施設

など教育環境の面においてどのような違いがあるのか。

(2)女性の社会進出や子育て、人口減少対策として、病児・病後児保育の推進は欠かせない事業と考えるが、見解は。

**教育長** (1)大規模校は、施設の使用時間等の制約があり、設備等の破損や消耗が激しいなどの課題もある。小規模校は、施設等に余裕はあるが、集団活動が成立しにくいことや、切磋琢磨の機会が少なくなるなどの課題が挙げられる。

**福祉保健部長** (2)病児・病後児保育事業や体調不良児童対応型事業は、子育てと仕事の両立を支援するための有効な施策であり、今後とも、事業の拡大を図っていきたい。



中川 加津代  
自民同志会

### 配食サービスの充実を

**副市長** 第6期介護保険事業計画策定では、介護食のメニューを盛り込むなど食の自立支援サービスを充実させ、地域コミュニティを活用した宅配食サービスを展開し、高岡型福祉サービスの発展を図っては。



運動会で元気に踊る子どもたち

では、計画の中で検討している。介護食の導入など配食サービスのメニューの充実は、今後、意向調査等も実施し、検討していきたい。

### 安心できる子育て環境を

**副市長** 子ども・子育て支援新制度について問う。

(1)新制度の導入に伴う利用者にとつてのメリットは。

(2)認定こども園への新規参加希望が少なかつた点を、どのように受け止めているか。また、今後の対策は。

**福祉保健部長** (1)環境が変わることなく生活が可能となる認定こども園の普及と、放課後児童育成クラブの対象者が小学校6年生までに拡大することにより、学年の垣根を越えた活動が可能となること等が主なメリットと考えている。

(2)認定こども園の収入案が現

行と大差がないことから、事業者の多くが推移を見定めているものと考えている。今後、認定こども園への移行後に、円滑に運営を開始できるように、円滑等の支援を行いたい。



樋詰 和子  
公明党

### 人口減少対策を

**副市長** 人口減少対策本部の具体的な推進スケジュールと目標は。

**市長** 対策本部では、平成26年度中に、若者や女性の視点から効果的な施策の検討を行い、必要な事業を27年度予算に盛り込みたい。また、子ども・子育て支援事業計画や新たな総合計画にも反映させ、誰もが住みたいまちづくりを進めたい。

### 女性消防士の採用を

**副市長** 女性消防士の採用を図るための体制づくりと、活躍の場への啓発を図っては。

**消防長** 平成26年度に初めて実施したインターンシップには、3名の女性が参加し、理解を深めてもらえたと考えている。今後も、インターンシップへ女性参加を促すとともに

に、女性消防吏員の採用を視野に職場環境を整備したい。

### 認知症高齢者の徘徊対策

**副市長** 認知症の徘徊高齢者の増加等への対策として、徘徊SOS緊急ダイヤルシステムの登録の啓発を行うべきでは。

**福祉保健部長** 家族が認知症高齢者の徘徊に気付いたときに専用ダイヤルに通報すると、協力団体に発見・捜索を依頼する仕組みである。今後とも、地域で見守る体制づくりを進め、出前講座等で事業の啓発を進めたい。



野上 達夫  
社民党議員団

### 高齢者の福祉施策の推進

**副市長** 高齢者の保健福祉と介護保険事業について問う。

(1)地域で支え合う仕組みづくりを推進する地域福祉ネットワークの整備・推進のこれまでの取り組みへの評価は。

(2)認知症のガイドブック作製等の認知症対策を第6期介護保険事業計画に盛り込んで。

**市長** (1)これまで地域包括支援センターの圏域ごとで開催してきた地域ケア会議により、地域で支え合うネットワーク

形成が大きく進んだと考えている。今後とも、地域資源や実態に応じた地域包括ケアシステムの実現に努めたい。

**福祉保健部長** (2)計画では、平成26年度中に作成する認知症のガイドブックや認知症予防施策、認知症の正しい知識と理解に基づく本人や家族への支援等を包括的・継続的に実施したいと考えている。

### 子どもが安心してできる環境を

**副** 放課後児童育成クラブガイドラインで定めていた基準を条例で定めることは、行政や事業者等が連携して設備と運営の基準の設定に責任を持つことだと考えるが、見解は。  
**福祉保健部長** この条例は、放課後児童育成クラブの設置や運営に対する行政の責任をより明確にし、施設や運営の水準を全国的に一定程度統一し、確保しようとするものであると理解している。



酒井 立志  
自民同志会

### 今後の子育て支援の考えは

**副** 子ども・子育て支援新制度の特徴に対する本市の見解と今後の取り組み方針は。

**市長** 新制度では、地域の実情に応じた子育て支援が可能となり、多様な子育てサービスを提供を推進したい。今後は、きめ細かな子育て支援の具体化のため、新制度に基づく認定こども園の充実等を通じ、高岡型の子育て支援システムを構築し、子育て満足度日本一のまちを目指したい。

### 新球場の特徴は

**副** 高岡西部総合公園野球場の特徴と、特徴を活かすためにどのように努力したのか。  
**教育長** 新球場の特徴は、選手にとってプレーしやすい点を重視し、甲子園球場等を参考にマウンドからの勾配等に配慮した。また、内野観客席を低くするなど観客と選手との距離感を縮めることで、臨場感を高めるなど、より一層試合を楽しめる施設とした。

### 一体感の醸成のために

**副** 新市誕生10周年を機に市民の一体感の醸成や郷土愛を育むことを目的として、高岡市民の歌を制定しては。  
**総務部長** 市民全体で歌う歌は、一体感の醸成等につながると考える。新市誕生10周年は市民の歌制定の機会であり、記念事業検討委員会等での意見を踏まえ、結論を出したい。



横田 誠二  
自民同志会

### 持続可能な病院経営を

**副** 団塊世代が後期高齢者となる2025年問題等を見据え、病院の機能分化等の経営改善策を検討すべきでは。  
**病院事務局長** 本院は、今後とも高岡医療圏の中核的病院として、急性期医療を担って

いく必要があると考えている。病院の機能強化については地域の医療ニーズや国・県の動向に対応しながら医療の質の向上と経営の安定に努めたい。

### 交通系ICカードの導入を

**副** ICカード導入のメリット



ICカードを導入し、よりスムーズな交通環境を

トを引き出すには、万葉線をはじめ、路線バス等にも導入を図るべきでは。

**市長** 万葉線では、あいの風とやま鉄道との乗り継ぎ等を考慮したICカード導入を検討されている。路線バス等への導入には、万葉線の導入実績と効果を踏まえ、バス事業者と協議しながら検討したい。

### 消防分団の適正配置を

**副** 西条校区連合自治会内には分団器具置場等がなく、消防団と連合自治会の区割りも異なり、見直しが必要と考えるが、見解は。  
**消防長** 消防団管轄区域は、統廃合の結果、現在の区割りとなっており、分団器具置場は、管轄区域内の中心部付近に配置することが適正である。管轄区域の見直しと、分団器具置場の適正配置については、引き続き検討したい。



石須 大雄  
社民党議員団

### 伏木港まつりの活性化を

**副** 伏木港まつりの協賛事業として好評を得た万葉ふ頭フェスティバルを、平成27年度からは正式行事としては。

**産業振興部長** 祭り当日は、予想を超える多くの来場者でにぎわった。今後は、伏木港まつりと万葉ふ頭フェスティバルの両実行委員会により、次回開催に向け、さらなるにぎわいの創出が図られる体制等の協議が進められると考えている。

### 今後の港湾計画

**副** 万葉ふ頭の整備について問う。

(1)平成元年の建設着手以降、北防波堤等の整備が進んできたが、C工区の着手予定は。

(2)港湾計画の抜本的な見直しは行われていないが、外航クルーズ船の入港が頻繁になったことから、港湾計画の見直しを要請すべきでは。  
**建設部長** (1)本市としても、さらなる港湾機能の強化が重要と考えている。このため、C工区の早期整備を、引き続き国・県に要望していきたい。

**市長** (2)伏木外港は、物流の効率化を目的に機能強化が進められてきた。その後、総合的拠点港の選定を契機に、荷主会社やクルーズ船会社等に対し、誘致活動に取り組んでいる。今後もこの取り組みを通して、さらなる港湾機能の強化につながるよう国や県等の関係機関に働き掛けたい。

## 委員会の動き

4常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

### ○総務文教常任委員会

◆本庁舎は耐震基準を満たしていないことから、外壁のみの改修工事ではなく、耐震化を含めた改修工事を行うべきと考えるが予定はあるのか。また、景観に配慮した外壁の改修工事を行う考えはあるのか。

◆本市の文化の継承や魅力等を発信する施設である金屋町鋳物工房（仮称）の整備計画は。

### ○民生病院常任委員会

◆国による個人情報の一元管

理により情報漏えいも危惧されるが、社会保障・税番号制度の導入にどのような危機意識を持っているのか。

◆子ども・子育て支援新制度への移行により、保育所等へ入所申請をする際、これまでよりも保育時間が短縮、障害をもつ子どもが認定されない等の問題の発生が想定されることから、保育認定は保護者の就労状況ではなく、子どもの状況を基本とすべきと考えるが、見解は。

◆放課後児童育成クラブの施設が不足する中、小学校の空き教室の活用が求められており、地域から要望も出ている。新制度移行後、クラブの利用児童が見込みよりも、実際はさらに増加するものと考えられるが、見解は。

◆利用人数が多い放課後児童

育成クラブでは、新制度の基準に従うと、既存施設以外にも施設を要することになる。職員の増員等の負担も増えることになるが、今後の対応は。

### ○経済消防常任委員会

◆農地・水保全管理支払交付金が多面的機能支払交付金へと制度変更され、対象が一定の要件を満たす非農用地にも拡大された。今回の補正予算には、非農用地に対する助成額は含まれているのか。また、非農用地への助成拡大に向けた今後の取り組み方針は。

◆新高岡駅二次交通機能強化調査事業で予定している能登方面のバスの運行時期と、1日当たりの運行本数は。また、高岡と白川郷を結ぶ世界遺産バスの現在の利用状況は。



見事に復元された檜皮葺屋根の勝興寺唐門

◆御旅屋通り魅力向上対策協議会に学生など若者をアドバ

ド購入の費用が計上されてから、御旅屋通りににぎわいが戻りつつあることが感じられる。アーケードの取得が、御旅屋通り再生の核となるよう積極的に支援すべきと考えるが、見解は。

## 編集後記

JRから北陸新幹線長野・金沢間の平成27年3月14日の開業日と運行計画の概要が発表されましたが、残念ながら速達タイプであるかがやきが新高岡駅に1本も停車しないという内容でした。これを受け、今定例会では多くの議員から質問が出され、また、新高岡駅へのかがやきの停車に関する決議を全会一致で可決し、飛越能地域の玄関口高岡として産業振興や観光交流の拡大をさらに発展させていくことを決意しました。

また、子ども・子育て支援新制度が27年4月から施行されます。住まいや働く場の確保、子育て環境の整備をさらに発展させ、市民の皆さまの生活向上に向け、議会の責務として取り組んでいきます。

(野上記)

### ★編集委員

◎川島、◎水口、横田、藪中、野上、中山、金森、金平、樋詰

(◎委員長 ○副委員長)

## 12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。  
なお、日時等は、11月25日(木)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

3日(木)	11時	議員協議会
	13時	本会議(認定議案等議決・提案理由説明)
5日(金)	10時	本会議(個別質問)
8日(月)	10時	本会議(個別質問)
9日(火)	10時	議会運営委員会
10日(水)	10時	本会議(総括質問)
11日(木)	13時	民生病院常任委員会
	13時	経済消防常任委員会
12日(金)	10時	議会運営委員会
	13時	建設水道常任委員会
	13時	総務文教常任委員会
16日(火)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議(議案・意見書など議決)

## 決算審査の予定

平成25年度決算審査は、下記のとおり開催される予定です。

11月 7日(木)	10時	水道病院決算特別委員会
	13時	決算特別委員会
10日(金)	9時30分	決算特別委員会
	10時	水道病院決算特別委員会
11日(土)	9時30分	決算特別委員会
	10時	水道病院決算特別委員会
17日(木)	10時	水道病院決算特別委員会
	13時	決算特別委員会

## 市議会の傍聴

### 最近の定例会の傍聴者数

定例会	本会議	委員会
25年12月	113人	6人
26年 3月	95人	4人
26年 6月	39人	1人
26年 9月	38人	4人